

子の目線で社会づくり

キッズデザインミーティング

子ども目線で社会づくりや商品開発を考
える「キッズデザインミーティング in
KANSAI」が大阪市北区の大阪イノ
ベーションハブで今月1日に開催された。
テーマは「子どもたちとともに創る未来」
2025年に向けて。「キッズデザイン」
の定着を目指すキッズデザイン協議会の主
催。昨年の第12回キッズデザイン賞に輝い
た操作性に優れたファスナーや「食べ残し
NOゲーム」の開発経過が報告された。

【中尾卓司】

食品ロス問題 ゲーム化

フリースクール「未^ま年の栗田^{あき}哲^{あきら}さん」は
来価値創造大学校(大^{だい}阪市)アドベンチャーを考案し、キッズデザ
イン協議会会長賞を受



子ども目線で見つめる社会の環境づく
りを語り合うキッズデザインミーティ
ング参加者ら＝大阪市北区の大阪イノ
ベーションハブで

賞した。栗田さんは飲
食店の課題を調べるう
ちに食べ残しの問題が
深刻で「食品ロス」と
呼ばれて社会問題にな
った。カードゲームに
てこの問題を考えよう
と画用紙でカードを試
作。飲食店の店主が食

べ残しをどう減らすか
を競う「食べ残しNO
ゲーム」を商品化した。
栗田さんは「食品ロス
の問題を考えられるよ
うに、いろんな場でゲ
ームを紹介したい」と
話した。

ミーティングでは、
「キッズデザインの発
想が住みやすい社会を
築く」などと子ども目
線で考えることの大切
さが共有された。
キッズデザインの
「安全・安心に貢献す
る」「創造性と未来を
拓く」「産み育てやす
い」という三つのミッ
ションに基づき、キッ
ズデザイン協議会は、
子どもたちが健やかに
育つ社会の環境づくり
を提唱している。